

なきごえ



8

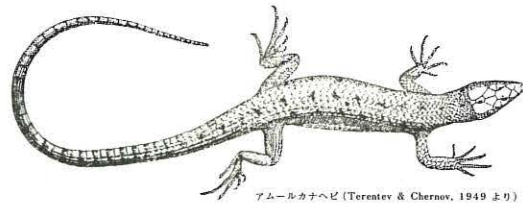
大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

柴田 保彦

6月、私は対馬の北端、比田勝の町の宿屋で、今日も梅雨にとじこめられていました。朝鮮半島と日本本土との中間にある長崎県のこの島へ、両生爬虫類——ヘビやトカゲやカエルなどの採集に来ていたのです。この島にはどんな種類がいるのだろうか。日本本土にはいない大陸系の種類はみつからないだろうか。

雨の中の採集は能率の悪いものです。今日はひとつ方向を変えて、地元の中学校を訪ねてみることにしました。中学校の理科室には、このあたりの標本が集めてあるかも知れない……。中学校を訪ねると、理科の先生が理科室前の廊下に並べてあるガラスの標本ビンのところへつれていって下さいました。ありあわせの酒ビンやツクダニのビンなどに、生徒の採集した標本がアルコールにつけてあります。朝鮮半島にすみ、日本では対馬にだけしかいないアカマダラというヘビもありました。特産種のツシマアカガエルの標本もありました。次々とみていった私は、一瞬、電気が通りぬけたような感じに打られました。アムールカナヘビ。目をこらしてよく見ると、たしかにアムールカナヘビがそこに入っているではありませんか。



アムールカナヘビ (Terentev & Chernov, 1949 より)

日本本土（北海道から九州まで）には、カナヘビ（トカゲの1種）がすんでいます。対馬にはこの仲間が分布していないのではないかと考えられていたのです。一方、アムールカナヘビは、ソビエト沿海州のウスリー地方からアムール・朝鮮半島にかけて分布しています。もしかするとこのアムールカナヘビが対馬にいるかも知れない……。そう考えていた私は、対馬へ出かける前に、アメリカのシャノン

博士の論文などをよんで、その特徴を頭にたたきこんでいたのです。

雨にふりこめられた中学校の廊下でこれに出合えるとは……。ウスリー・アムールから朝鮮半島・対馬などがひと続きの陸つづきだった大昔のことが頭をよぎります。

中学校に標本があるからには、きっとこの周辺に棲息しているにちがいない。どうしても自分で捕えたい……。けれども、ついにこの採集旅行では、影さえも見ることはできませんでした。

また年が変わった夏。ふたたび対馬へやってきた私は、北部の御岳（みたけ）という山へ来ていました。毎日のようにゆっくりと山道を歩き、左右に注意ぶかく目をくぼります。ある日、ついにチラッと草かげに姿がみえ、同時に手がそれを押さえていました。やはりアムールカナヘビでした。その年から翌年にかけて、他の研究者もこのカナヘビを採集し、これで、対馬のアムールカナヘビの存在が確実となりました。このようにして、有名なツシマヤマネコと同じく、大陸と対馬をつなぐ生物分布の鎖のひとつが、またひとつつけ加わりました。

どの地方にどんな生物がすみ、どのようにして生活をなしているのか。これをひとつひとつ調べていくのは、時間のかかる仕事です。けれども自然界は、時にすばらしい一瞬をみせてくれることがあります。それはまさに一瞬のことで、しかも二度と訪れない一瞬であるけれども。

私の勤める自然史博物館の展示では、自然界や自然物の、ごく一部を抽出して、みなさんにお目にかけています。そして、学芸員の体験するすばらしい自然を、できるだけお伝えしたいと考えています。この展示室をみる観客のみなさんは、自分の体験した自然と、目の前の展示物をつなぎ合わせ、博物館の示そうとする大自然のイメージを、自分の心の中へ画くことができるのです。

都会にすむ私たちと、自然とのかかわり合いがますますなくなってきた今日このごろ、数少ない展示物で自然をどのように表現できるか。これは博物館の学芸員が特に苦心していることのひとつです。

(大阪市立自然史博物館・主任学芸員)

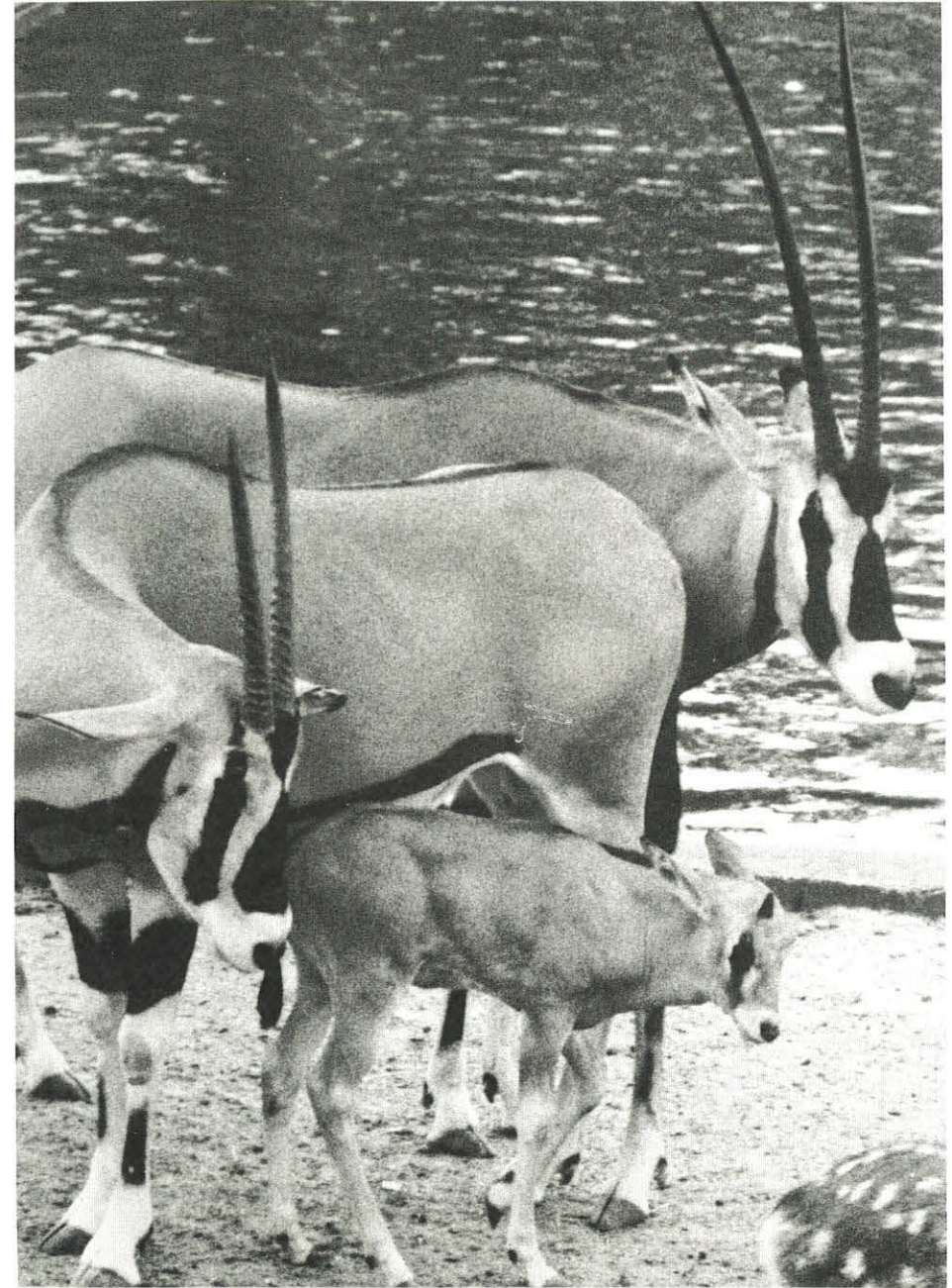
なきごえ8月号もくじ

動物と私	2
オリックスの親子	3
動物園グラフ	4・5
動物あれこれ	6・7
動物たちを可愛いがろう	8・9
動物相談室	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“パタスザル”

アフリカの草原地帯にたくさんの群れですんでいます。毛の色が赤みがかった美しい色をしています。おすにはリッパな口ひげまであります。



“オリックスの赤ちゃん”

6月29日、オリックスの赤ちゃんが生まれました。これで、オリックスの家族は、5頭になりました。オリックスはかもしか園の貴公子、長い角と美しいマスク。しかし、とても気は荒い動物だ。

動物園グラフ

“水浴びをする動物たち”

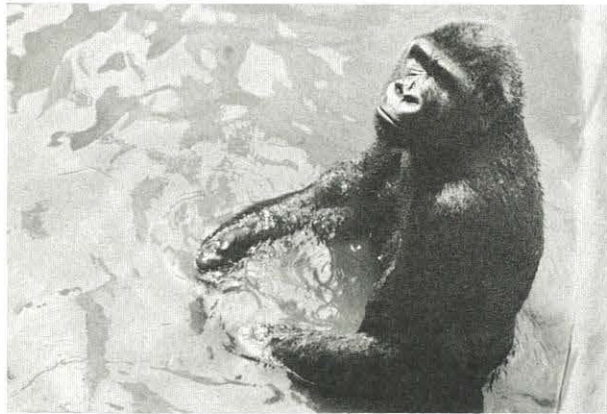
長い梅雨があけると、暑い夏がやってきましたが、動物たちは夏をどうして過しているのでしょうか。今月は“水浴びをする動物たち”のようすを御紹介しましょう。

木の上で生活するオランウータンも日本の夏はさすがにこたえるのか、毎日、行水をつかわせてもらっている。 →



↑ゾウも水浴びが大好きで、プールに入ったり、ホースで水をかけてもらったりして身体を冷やしています。

ゴリラも水が大好き。
↓どっぷり水につかって満足そうな表情



ヒグマもたまたま、プールに飛び
↓込んで仲よく行水。

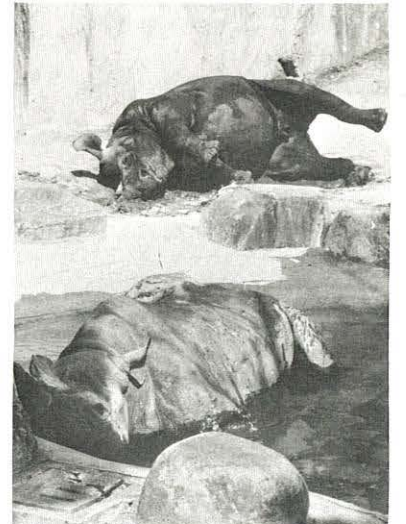


濠のわき水が気持ちいいのか午後になると、きまってここで、じっと水につかったり、2~3頭で、じゃれあっているトラ。 →



←夏は大変なニガ手。密な毛と厚い皮下脂肪のシロクマにとって、プールでの水泳が一番の消暑法。

プールにどっぷりとひたっている母サイと、プールから上って、土の上をころげて泥を背中にこすりつけている子サイ。



ふだんあまり水に入らないオオアリクイも、
↓プールに飛びこんで身体をゴシゴシ



6・7月の動物園日記

- 6/24. スジオナメラが昨日から合わせて17個の卵を産みました。オオヅルが3卵目を産卵しましたが、すぐに食卵されてしまいました。
26. 6月15日に生まれたアシカの仔が惜しくも死亡しました。胃腸炎と肺炎をおこしていました。
27. ヨウムの子が腫脹して両目がふさがりそうなので治療を始めました。

29. オリックスが1頭(オス)誕生しました。スプリングボックも1頭(オス)この日誕生し、カモシカ園は二重のおめでたです。コバタン1羽の寄贈がありました。
- 7/3. アグーチが1頭死亡しました。腹腔内に大きな腫瘍ができていました。インドマングースとカバの交尾が認められました。
5. 北京に贈られるアカカンガルーとルリコンゴウインコの出発式が、大島大阪市長、宮北公園局長らの出席のもとに盛大に行なわれ、大阪港から中国向けの船に積まれて出発しました。
6. 小鳥舎のインコ類が5羽ほど軽い感冒にかかって

- いるようなので、治療しました。ヒグマ、マレーグマの駆虫を実施しました。
7. ハナジカが1頭誕生しました。
9. キソウマが軽い疝痛を起こしているため、ひき運動をさせています。
12. ニジキジのメスがオスに突つかれて死亡しました。
14. ゴリラが2頭共下痢をしているので治療をしています。
16. ゴリラの下痢は大分良くなりましたが、メスのラリが食欲不振です。シロクマの小さい方のオスが前足をけがして跛行しているため治療しています。

18. シュバシキンセイが1羽死亡しました。
19. キリンが交尾をしました。
21. ニホンシカが1頭出産しましたが難産のため、仔はすぐ死亡しました。
24. 抱卵中のキングペンギンのオスが衰弱が激しいため栄養剤を与えています。
27. クモザルのメスが腸間膜リンパ節腫瘍で死亡しました。
28. キングペンギンのオスが抱卵疲れに加えて肺炎を発して死亡しました。このペンギンは、大阪にきて、もう10年以上にわたっていました。

動物あれこれ

米田 敏光

動物園内を、見て歩いていると、非常にゆかいな、楽しいしぐさや、ポーズに出くわすことがしばしばあるものです。

ゴリラ舎の前に立つと、2頭の大きい、真っ黒な塊がもつれあって、コンクリート壁にぶつかったり、スベリ台から逆さまに滑べっていたりする。観客にむかって威嚇、それともおじょうずか、両手で、胸をポンポンと叩き、その快音がこだましてひびく、観客よりどっと笑い声がおこる。

かばのプールでは、親子仲よく、でっかい目、大きな鼻、小さい耳だけを水面より出したり、もぐったり、じっとしている。



食事になると、短い肢で、巨体をもてあますかのようにさゝえながら、ノシッノシッと歩く、ブルドーザーのような、口を開け、餌をすくい上げるさまは、実に壮観である。又特に雄の排便時に出くわすと、大きな臀から申し訳程度の小さい尻尾を、左右に振りまいて、糞をいたるところにかけるのに

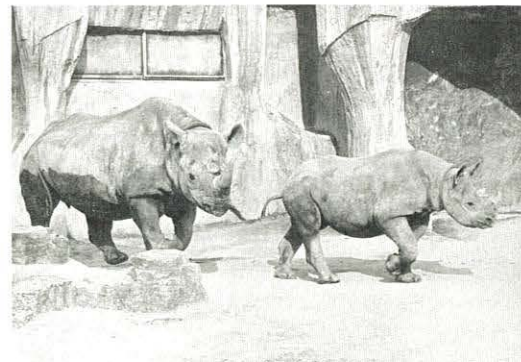
は閉口する。

ふたこぶらくだも、夏にみると、毛が抜け落ち、裸同然のようで、ぼろぎれをまとった神父の様な顔つきをし、何か怒っている時は下唇を反転し、白い泡を出して説教しているみたい。



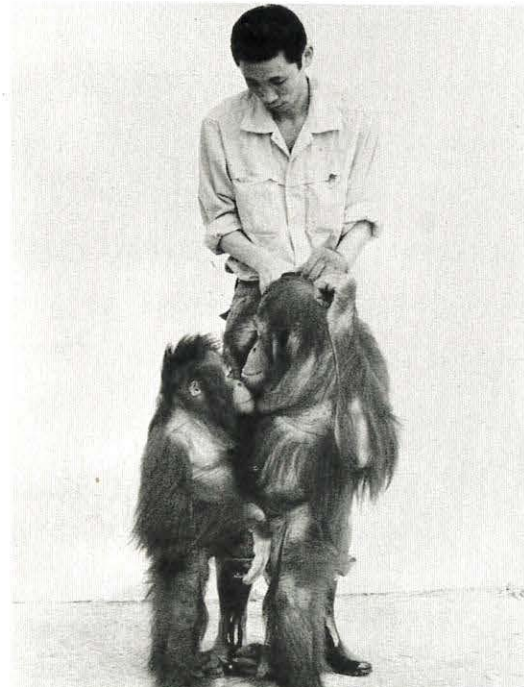
ライオンのほおずりも、仲間同志の挨拶か、それとも、人間がしているキスの真似か、短い前肢と太い尻尾で、さゝえながら歩いているカンガルーの姿も、なかなかユーモラスだが、特に横たわる姿は、腰そのものを地面につけると同時に、からだ全体を横びらきし、まるで人間が手枕をして足をくねらせて休んでいるのではないかと錯覚する。

装甲車のようなサイが、小さな目を細めてクウクウと、鳴くさまは、想像も出来ない位可愛い。



又小便をする時はイキナリ後にむかって飛ばすので、びっくりする。面白いのは、排便の時、腰を落し、鈍重な丸太のような後肢で、犬やライオンがしているように、砂をかけているのは滑稽である。

ひるさがりグツタリしていたアシカも、餌の時間ともなると、脱兎の如く、餌にむかって突進する。プロペラのように、左右両側より、水しぶきをあげる姿は、あたかも水中翼船を思わせる。



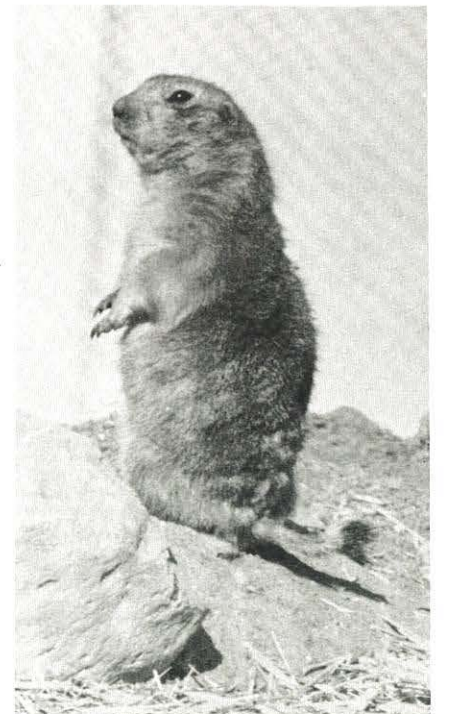
オランウータンの姉妹が飼育のお兄さんにつれられて散歩している姿がみられる、姉が妹をかばいながら両手を上にあげ、こぶしを握りしめあちらこちらチラチラ、足もとは非常に不安定で、指を全部折まげ、小指側を地面につけて体重をさゝえ、ヒョッコラ、ヒョッコラと内股で歩いています。

アライグマは、部屋をチョコチョコ、木に登ったり、せわしく歩き廻り、餌時になると必ずといってよい程、餌を握って、水の落し口へ持ってゆき、水で洗っている姿は、あたかも皿を洗っているかの様です。

えぼしどりの空中回転、枝の上をトントントンと飛びかい、金網に脚がかかるや否や、くるりと一回転。

プレイリードッグの穴掘り、前肢で、すばっこく砂をかきわけ、後肢で砂を押し出しトンネル作り、穴から注意深く顔を出しあたりを警戒、異状のないのをたしかめてから、穴から姿をあらわし、餌を両手にもって立ち、小さな尻尾をしじゅうブルブル振りながら、ひよ

うきんな顔付で、口をもぐもぐさせ物音に驚いた時は敏捷に穴に姿を消してしまっています。



動物達を可愛がろう

盛 沢 勉

世界的に野生動物が危機に瀕し、その保護が叫ばれてから久しい。

わが国においても、野生動物保護法が、本年4月に制定され、法律的には、諸外国なみの水準に達したことになります。

「動物たちも、護らなければならない」というごく当然のことが、ようやく、その緒についたといえます。

これまで、特別天然記念物に指定されているカモシカを殺したり、ひどいになると、アルプスの雷鳥をバーベキューにしたなどという記事があって動物愛好家を大いに、悲しませてきました。法律ができて、そのような、不心得者は、まだ出てくるかも知れませんが、残り少ないこれらの貴重な動物を大切に育てていきたいものです。

さて、私達が野生動物のナマの姿を見る身近な場として、動物園があります。立地条件が、ほぼ、大阪市の中央部にあり、交通の利便も加わって、天王寺動物園は、年間300万人以上の入園者を数え、教育、レジャー施設として、その役割をはたしております。動物園では、約320種1300点の動物達が飼育され、たくさん入園者に見ていただいておりますが、ここでも、大切な動物がビニール袋入りのパンを、そのまま、食べさせられたり、草食動物が、チョコレートなどを投げ与えられたりするため、動物たち

(特に人気があり、野生動物としても貴重なもの)は、下痢、発熱、食欲不振に落ち入り、ひどいものは、死亡することもあります。

そのたびに、飼育担当者や獣医は、まるで、自分の子供が病気にでもなったように、それ、注射だ、投薬だ、手術だと、大へんです。

野生動物は、本来、自己防衛本能から、体調の異状を他に表わさない習性を持ち、体力の限界まで、ジット、ガマンをするため、毎日の動作、食欲、体調等を確実にキャッチし、適確な処置をしなければなりません。さらに、新入園動物があれば、環境の変化、飼料、等々について、研究を必要とします。

このように、各種各様の野生動物を育て、継続させて、入園者に見ていただくには、担当者のカゲの苦労は大へんなものであります。

本誌では、各種の動物生育記録を皆さまに、数多く、お伝えしてありますが、では、記録作りの、ウラカタさん、つまり、これらの動物たちが、寝食共に、オセワになっている飼育担当者や獣医の裏話しとでも申しますか、苦労談を若干、紹介してみたいと思います。

まず、A君に登場していただく。彼は、外国から親善のために、いただいた動物を担当することになりました。入園当初は、元気であったその動物が、環境の変化や諸条件等が重なり病気になるてしまいました。横になって動かない動物のそばで、彼は数

十日間、看護に頑張り、見事に回復させています。その動物は、現在、大きく成長し、運動場を元気に走りまわっています。

又、B君という青年がいます。彼の担当動物が、苦勞の甲斐あって出産しました。今度は、親が育てようとしません。彼は、その動物が成長し、1人立ちするまで、人工哺育することにしました。その期間中、早朝に、出て来て、給飼をさせるなど、恋人以上に熱を上げ、現在では、入園者の人気動物の1つとなっています。

Cさんは、ベテランの飼育者であるが、ある日、帰宅してから、施設箇所の1つが、どうしても、不安で、いても立ってもいられず、再び出勤して確認に当たった。施設は完全で異常なしと再確認して、深

夜、帰宅した。

等々、ほんの一部のおはなしですが、晴れの舞台に送り出すために、全力を上げて、育てた動物が、いじめられたり、殺されたりした時の、担当者の悲しみは大きい。動物園などで飼育されている動物は、食と住とある程度の安全は、確保されています。しかし、山や野や海辺の、野生動物は、それらを満たす条件は、非常に悪いのです。皆んなでそれらを守り育てていきたいものです。

私は、飼育の担当者でも、動物飼育についての知識もありませんが、日々、これらの方々と接している1人として、見聞したことを紹介しようと筆をとった次第です。

(動物園管理係)



世界の自然を
わたしたちの手で
すくみましょう

WORLD WILDLIFE FUND
世界野生生物基金日本委員会

World Wildlife Fund Japan
財団法人 世界野生生物基金日本委員会
理事長 古賀忠彦
電話 (03) 813-2871 03-5562-2527

会員の申し込み・募金の受付
会員としてのご協力……
維持会員は年額1000円、賛助会員は年額10000円です。維持・賛助会員とも特別の志はありませんが、法人ご入会の場合は、賛助会員として何日か加入していただけます。
会員になられると「W」のワッペンと機関誌「野生動物」をご送付いたします。
募金によるご協力……
10円でも100円でも結構です。一度に1000円以上寄付していただけたときには、「W」のワッペンを差し上げます。
お名前(ふりがなをつけて下さい)、住所、(郵便番号)会費・募金をはつきり書いて、右の住所へ送って下されば幸いです。

動物相談室 (6)

今回は昨年4月から今年3月までに受けた動物相談を統計的にまとめ、その特徴について述べてみました。

別表に昨年度の受付件数ベスト20を出してみました。昨年1年間の総受付件数は2368件で、一昨年の2791件よりやや減少しました。

動物別にみますと飼育方法に関する事ではウサギ及びげっ歯類の相談が163件と最も多く、ついでカメ類の149件、小鳥類の114件です。病気の治療法や予防に関する問合せは小鳥類の148件が最も多く、ついでオオム、インコ類の122件です。今年3月頃に各地でサルの赤痢事件が相ついでせいか、サルの病気に関する問合せの増加が目立ちました。

次に月別に各季節の特色を見てみますと、5月が305件、6月が301件、4月が249件とこの季節に相談が多いようです。やはり春の訪れと共に動物に対する興味が増すのかもしれませんが。反対に12月、1月は110件、133件と相談が少ないのは、師走、正月となにかと忙しい時に動物に構っている時間が少なくなるのでしょう。4、5月によく受ける相談がキジ、クジャク類の卵のふ化方法です。これは丁度キジ類の産卵期に当たるため、日に何回となくこのような相談を受けます。又、この季節は今まで冬眠していたヘビなどが活動を始めるため、大阪府下のあちこちからヘビに関する問合せがきます。そのほとんどがヘビの撃退法に関してですが、中には電話でその相談を受付けている最中に、電話器の側にヘビが近付いて来たというので悲鳴をあげて電話をきる人もいました。今年も5月から20匹以上のヘビが動物園に持込まれて来ています。その大半はパトカーで厳重に護送?されて来ます。

7、8月は、カメが卵を産んだがどうしたらふ化させられるかという相談が目立ってきます。中にはカメ1頭のみで飼育している場合もあり、そんな時には無精卵なのであきらめるように説明するのですが、それでもなんとかふ化させられないのかなどと言われて困る場合もありました。

梅雨の時期や、9、10月頃には小鳥、インコ類の病気に関する問合せが多いようです。やはり体力の

ない小鳥類は季節の変わり目に病気が多いようです。9月、10月になるとカメの飼育に関する中で、冬眠についての相談が増えます。中には12月、1月になっても暖房なしで飼育していて、餌を全然食べないようになったがどうしてですかという問合せもあり、カメなどの変温性動物の冬眠あるいは暖房の必要性を話してやり、寒中水泳中の不幸なカメの救出を早急に望む次第です。

動物相談を受けていると、私達でもびっくりするような質問が時々あります。それに対する答えをいかにして導き出すかということは、私たちにとっても非常に勉強にもなり、励みにもなります。

しかし動物クイズの回答や、仲間で作ったカケの正解を聞いてきたり子供の宿題を聞いてくるのなど少しふまじめなものもあって苦笑させられます。

※動物相談の受付は平日3時～4時、電話番号771-8402で、担当の獣医6人が毎日交代で受付けています。

(宮下 実)

動物相談受付件数 (ベスト20)

順位	相談内容	件数
1	ウサギ及びげっ歯類(リス、ハムスターなど)の飼育に関して	163
2	カメの飼育に関して	149
3	小鳥類(インコ類、野鳥を除く)の病気にに関して	148
4	オオム、インコ類の病気にに関して	122
5	小鳥類(インコ類、野鳥を除く)の飼育に関して	114
6	キジ、クジャク類の飼育に関して	95
7	ウサギ及びげっ歯類(リス、ハムスターなど)の病気にに関して	85
8	サルの飼育に関して	82
9	サルの病気にに関して	64
10	カメの産卵、ふ化方法に関して	58
11	ハトの飼育に関して	55
12	キジ、クジャク類のふ化方法に関して	51
13	オオム、インコ類の飼育に関して	47
14	イヌ、ネコの病気にに関して	46
15	ヘビの撃退法に関して	42
16	猛きん類の飼育に関して	40
17	アヒル、カモ類の飼育について	39
18	野鳥に関して	39
19	カメの病気にに関して	36
20	ハトの退治に関して	32

夢が広がるシヨツピング...
近鉄がお届けします



近鉄

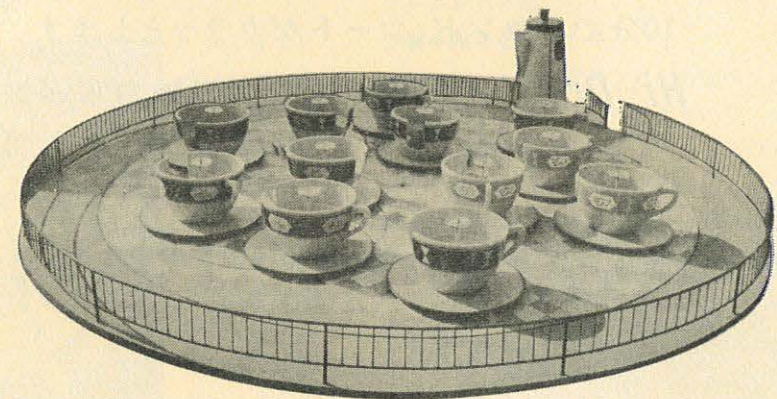
アベノ近鉄 TEL.(06)621-1231

上本町近鉄 TEL.(06)779-1231

奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111

東京近鉄 「49年4月オープン予定」

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938番

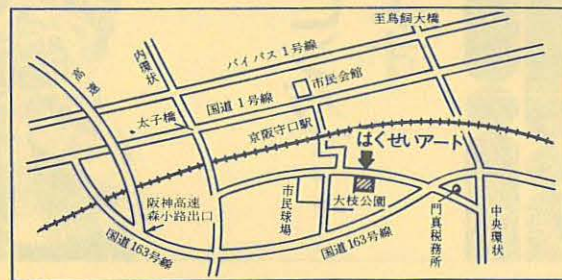
従来の剥製イメージを
— 掃 !!



★各界注目の研究グループノ(TV出演)

はくせいアート

株式会社 スガワ製作所
TEL 992-6497



グラント乾燥のパイオニア登場!!

どんな雨あがりでもすぐ試合、練習OK!!

10分でグラント、コートがカラッとします。

Hi-Dri ハイドライは独得の強力吸湿性と
ザックリした感触で

雨後のグラントを引締め、運動技能を損う不愉快なぬめり、
ベタツキを除きさっと散布するだけで晴天のようなグラント
コンディションを造りあげます。



輸入販売
株式会社

インドル

北事務所 大阪市北区伊勢町9番地 TEL (06)364-3149
本社 大阪府守口市東光町3丁目3番地 TEL (06)996-2245(代)

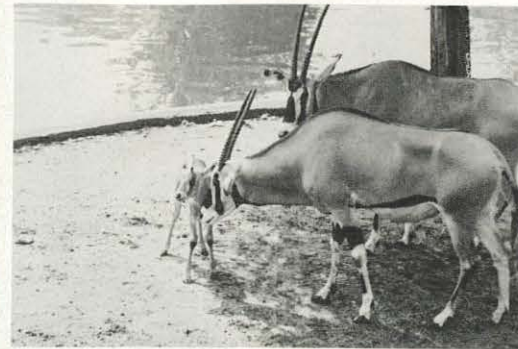
動物園ニュース

☆インドヒョウの出産

6月23日にヒョウが1頭(オス)生まれました。母親は斑紋の明瞭な、いわゆるハナヒョウですが、父親はクロヒョウのためどんな仔が誕生するか興味深々でしたが、母親とそっくりのヒョウが誕生しました。参考までに述べますと、昨年この夫婦間に生まれた3頭の仔もやはり母親似でした。

☆オリックス誕生!

6月29日にオリックスの仔(オス)が1頭生まれました。生まれた時やや小さいので心配でしたが、段々ワンパクぶりを発揮して元気にとび回っています。本園で誕生したオリックスはこれで6頭目です。又、同じ日にスプリングボック(オス)も1頭誕生しました。スプリングボックは6月6日にも1頭生まれており、今年2頭目の誕生です。



☆スジオナメラの産卵



スジオナメラは台湾、中国、朝鮮、東南アジアなどに広く分布するヘビで、6月23日に産卵を始め、翌日までに17ケの卵を産みました。このヘビの産卵は本園では初めてで、ふ化が望まれます。

☆北京との動物交換、実現へ!



7月5日、大島市長、宮北公園局長ら列席のもとに、北京に贈られるアカカンガルー1つがいとルリコンゴウインコ2つがいの出発式が行われました。

市長のあいさつの後、輸送船の船長さんに北京動物園へのメッセージを渡し、動物たちには幼稚園

児から餌のプレゼントがあり、大阪港から一路中国へ向けて出発して行きました。

北京から贈られるモウコレイヨウ2頭とタンチョウヅル1羽は8月5日大阪港に着く予定です。

☆上海からもニーハオ!!

上海—大阪両市友好交流の手始めとして、8月22日に上海からの直行便でクロオオカミとマナヅル各1つがいと来園の予定です。当園から上海動物園へはフンボルトペンギン2つがいとアシカ1つがい、来日中の上海曲技団一行と共に上海へ向う予定です。北京、上海と続く動物交換に、動物園はまさに中国ブームがわき起こっています。

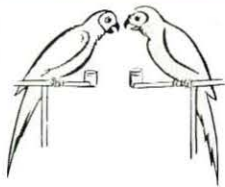
☆満4周年を迎えたキーウィ

1970年、大阪で開催された万国博を記念してニュージーランド政府より贈られたキーウィが、今年7月2日で満4周年を迎えました。メスの方は惜しくも1970年10月22日に真菌症で死亡しましたが、オスは健在で



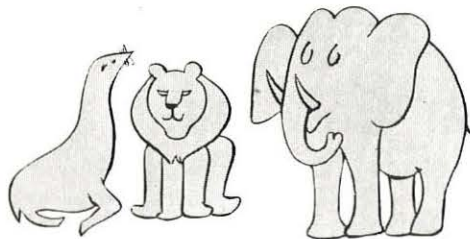
写真: 読売新聞社提供
大切に育てていきたいものです。

なきごえ 昭和49年8月15日発行 (毎月1回15日発行) 第10巻第8号(通巻109号)
 編集／大阪市天王寺動物園 于543 大阪市天王寺区玉水町2
 電話 (06)771-0201
 振替口座 大阪 37823
 印刷所／株式会社 松村善進堂 和田辰巳 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140cc.＝70円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 <小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・米田敏光・樽本 勲・田上 勝>
 <中川道朗・農本武志・深井和美・東 政宏・宮下 実>